

令和3年度 創立記念祭校長式辞

昨日の冷たい雨が嘘のように、今日の青空は気持ちよく澄み渡り、まるで、本校の創立記念祭をお祝いしているかのように思えます。

さて、本校は今年、創立57年を迎えることになりました。これもひとえに織田奈美理事長先生をはじめ、学校関係者の皆様のご支援とご協力の賜と教職員一同心から感謝いたしております。

本日の第57回創立記念祭は本校の創立を祝うと同時に、様々な運動競技やパフォーマンスをとおして、クラスの団結やチームワークを発揮するスポーツイベントでもあります。生徒と先生が一つになって、そのスポーツイベントを成功させるという目標に向かってこれまで練習してきました。しかし、今年の創立記念祭も昨年度と同様に、残念ながら、感染症予防対策のため、一般公開できず、2年続いて皆さんの家族の方々に見てもらえないことはとても残念です。

この夏の東京オリンピックと同じように観客なしの創立記念祭ですが、昨年度よりは、競技種目も増えました。マスクを着けたままですが、国歌や校歌などの歌を歌うことにしました。

祝賀式も運動競技も例年よりは規模を縮小せざるを得ない状況なので、本来の創立記念祭とは言えませんが、それでも、昨年と比較すれば、競技種目を増え、皆さんが練習を重ねるたびに記念祭というものを徐々に実感してきたのではないでしょうか。特に、記念祭をスライド映像でしか見ていない一、二年生にとっては、すべてが初めての経験になります。三年生は一年

生の時に創立記念祭を初めて経験しましたが、二年ぶりの今日の記念祭は最後の記念祭になります。三年生にとっては、卒業後、同窓生に再会したときに今日の記念祭が話題になるような良い思い出になってくれたらうれしいです。

今年のプログラムの中で新しく変更したものがありません。それは、「民謡めぐり」の衣装です。これまでは法被を全員着ていましたが、今回は、二、三年生は、家庭科の「被服」の時間に作成した「浴衣」を着て踊ります。どんな踊りになるのかとても楽しみです。また、競技とは別に、ダンス部によるパフォーマンスもあります。

簡略版の記念祭であっても、工夫とアイデアが生かされた素晴らしい記念祭になると私は確信しています。

今日の創立記念祭でも、親切正直の校訓とともに「いつでもだれでも主人公」のモットーを実践してください。ひとりひとりが主人公になる姿を楽しみにしています。

それでは皆さん、今日の記念祭を明るく笑顔と仲間とのチームワークによって、皆さん一人一人の良い思い出になる記念祭にしていきましょう。

校長式辞を終わります。